

J-ALERTなどの緊急放送が可能。 既設の光ファイバー網を活用した 緊急情報提供システム。

そこに、
TOA…

岡山県倉敷市 様

国内有数の工業都市にして、自然と観光にも恵まれた岡山県倉敷市様。そもそも岡山県は、「晴れの国おかやま」と謳われる通り、温暖な瀬戸内海式気候と四国山地のおかげで台風の直撃も希という土地でした。そんな自然災害とはほとんど無縁だった同市が、平成16年に予想外の台風被害を受けたことから、従来の防災行政無線とは一線を画す新しい緊急情報提供システムの整備をスタート。一躍、防災意識の高い地域として注目を集めています。同システムは、既設の光ファイバー網（かわせみネット）を活用し、倉敷市本庁・消防局・支所に設置した放送装置から各公共施設に設置した屋外スピーカーへ放送を行う一方、光ファイバー網に直接接続していない公共施設（公園など）へは無線LANを用いて屋外拡声塔から緊急放送を行います。これらの屋外拡声拠点は、最終的には約350カ所になる予定です。

そのシステムのIPネットワーク（IPv6方式）網で音声を送って放送を行うのに、TOAの技術が役立っています。本庁や支所（7カ所）、消防局に設置しているIP告知送信機〈NX-220CT〉からIP網、もしくは無線LANを経由して送られてきた緊急放送音声IP告知端末〈NX-220HU〉に接続した拡声設備を通じて放送を行います。また、避難所に設置した監視カメラで、避難してきた市民の状況を本庁および各支所にいながらリアルタイムに確認でき、避難所の迅速な状況把握や適切な指示も行えます。

そのほか、マイク放送時には、PC画面上で放送したいエリアをボタンで選択するだけで、エリア放送も簡単にできます。たとえば緊急時の一斉放送はもちろん、市役所からのお知らせなど、日常的な行政放送にも使用できます。さらに本庁の放送装置では全国瞬時警報システム（J-ALERT）にも対応。その全国瞬時警報システムを最優先とし、緊急情報の内容に応じた優先順位に則って自動的に放送を行います。また、TOAのIP告知放送システムはSIPサーバを使用していないため、毎月のランニングコストの抑制にも貢献しています。

平成19年よりスタートした倉敷市の緊急情報提供システムの整備事業は、平成23年3月に完成予定です（一部稼働中）。しかし、いくらハードを整備しても、機械が人命を救ってくれるわけではありません。その情報を聞いた市民が適切な行動を自然にとれるように努力していくことが倉敷市の次の課題です。被害をいっしょに減らす減災への取り組みを徹底して進めるために、倉敷市の挑戦は今も続いています。

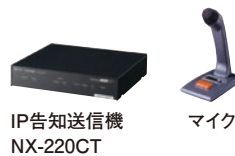


倉敷市役所



本庁・支所・消防局

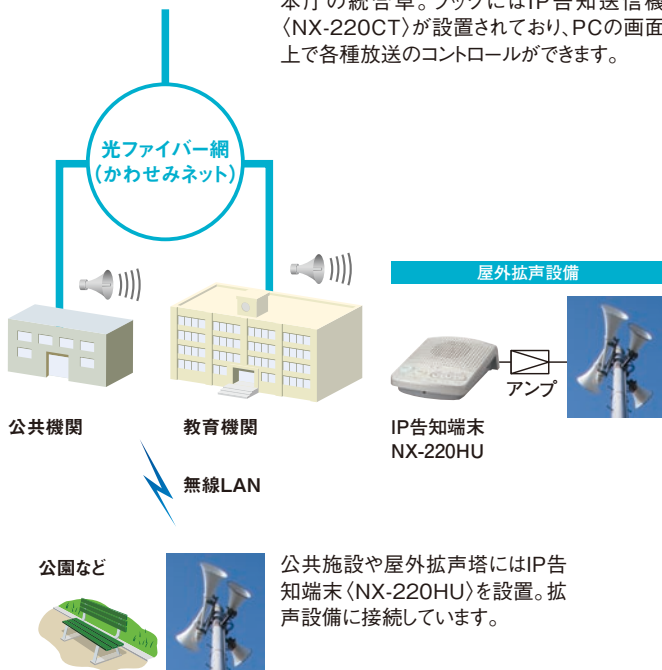
放送装置



IP告知送信機
NX-220CT

マイク

本庁の統合卓。ラックにはIP告知送信機〈NX-220CT〉が設置されており、PCの画面上で各種放送のコントロールができます。



公共施設や屋外拡声塔にはIP告知端末〈NX-220HU〉を設置。拡声設備に接続しています。

施主:岡山県倉敷市 様
所在地:倉敷市西中新田640番地
納入年月日:2011年3月完成予定(一部稼働中)

NEW LINEUP!

パケットインターカムシステム N-8000シリーズ

セキュリティ用途の4線式サブ端末システムと プライバシー機能を実現する2心シールド式システム端末を ラインナップに追加!

音声コミュニケーション・セキュリティ対応の総合システムN-8000シリーズに、4線式サブ端末4種と接続ユニット（N-8400RS）を新たにラインナップ。また、プライバシー機能を搭載したRS-140を追加するなど、2心シールド式システムも拡充。セキュリティインターホンシステム構築を実現します。



サブ端末接続ユニット
N-8400RS [4線式] 1U

N-8010RS [2心シールド式] 1U

サブ端末と、マスター端末との間で通話するためのユニット。対応するサブ端末を16台まで接続でき、ユニット毎に共通のマスター端末を呼び出します。



RS-450 RS-460

サブ端末
RS-450 [4線式]
堅牢型サブ端末
RS-460 [4線式]

4線式接続タイプのサブ端末。マスター端末との通話は交互通話になります。



RS-470 RS-480

屋外堅牢型サブ端末
RS-470 [4線式]
呼出表示灯付サブ端末
RS-480 [4線式]

4線式接続タイプのサブ端末。基板面が耐候性コーティングされており、海岸付近や高湿度といった環境条件下でも設置可能です。



オプションハンドセット
RS-481 [4線式]
RS-480専用のハンドセット。
RS-480と接続することで秘話通話（同時通話）が可能です。



スイッチパネル
RS-140 [2心シールド式]

2心シールド式のサブ端末。プライバシー機能を搭載。また、ハイインピーダンススピーカーとの接続により、トークバック通話が行えます。



オプションハンドセット
RS-141 [2心シールド式]
RS-140専用のハンドセット。
RS-140と組み合わせて使用することで、秘話通話（交互通話）が可能です。

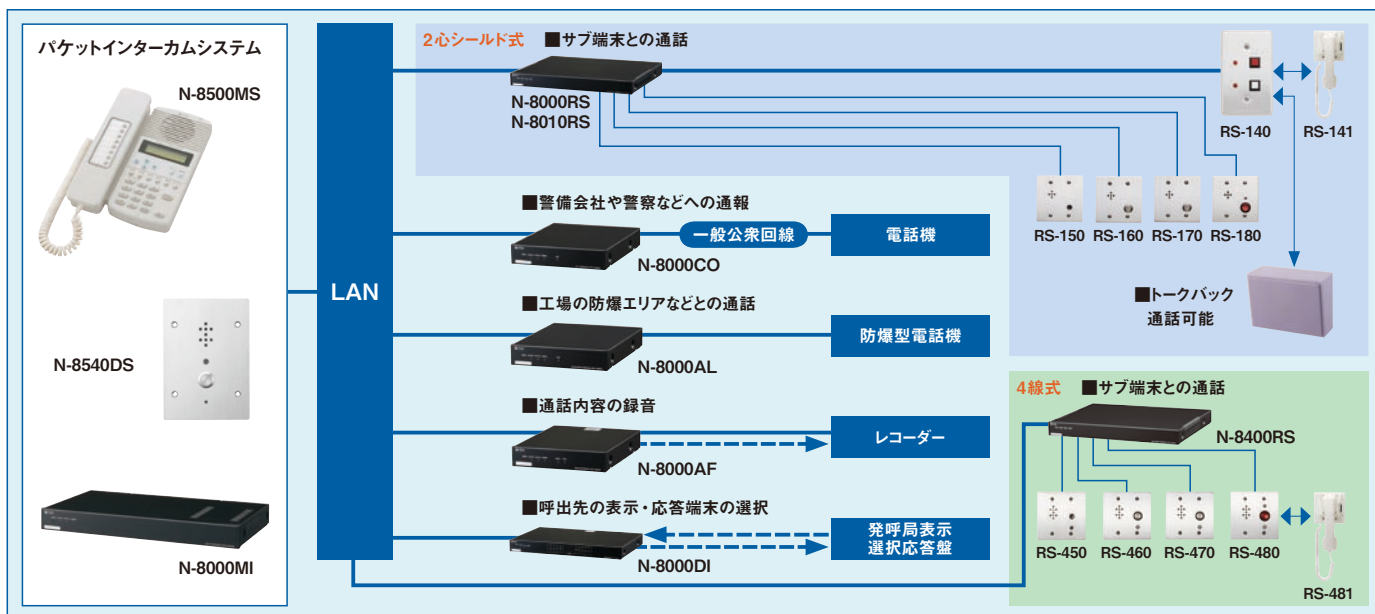
パケットインターカムシステムの新機能

- 緊急呼び出し
 - 選択応答
 - ダイレクトセレクト
 - 音声トリガ
 - 局線への発着信
 - 3者会議
 - 通話内容録音
- ※詳しい機能説明は NEWS OF TOA vol.54 をご参照下さい。

プライバシー機能のポイント (RS-140のみ)

- 呼出音を鳴らしたくないシーンに便利
 - プライバシーボタンを押すと表示灯が点灯してプライバシー状態に。マスター端末または、N-8000ALに接続された電話機からの呼び出しを拒否できます。
 - マスター端末から呼び出されても呼出音が鳴りません。マスター端末側にはプライバシートーンが聞こえ、呼び出し先がプライバシー状態になっていることを伝えます。このときPTTスイッチを押して話すと音声呼び出しが可能。職員室・教室間の連絡において、教室で授業中には呼出音を鳴らしたくない場合などに便利です。

システム構成例



デジタルステレオミキサー 近日発売

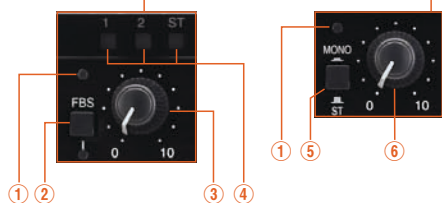
ボタン1つで簡単に“良い音”!

複数機能を1Uのコンパクトサイズに凝縮し、ボタン1つで簡単に操作できるデジタルステレオミキサーが登場。



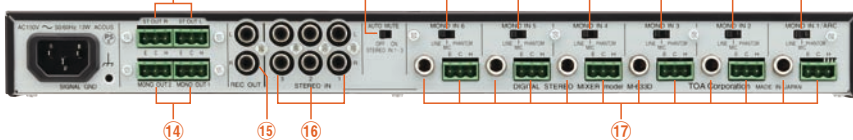
デジタルステレオミキサー
M-633D 1U

(前面)



- ① 入力レベル表示灯
- ② FBSキー
- ③ モノラル入力レベル調節つまみ
- ④ アサインスイッチ
- ⑤ サミング出力キー
- ⑥ ステレオ入力レベル調節つまみ
- ⑦ ARCスイッチ
- ⑧ モノラル出力レベル調節つまみ
- ⑨ ステレオ出力レベル調節つまみ
- ⑩ 前面ステレオ入力端子
- ⑪ ステレオ出力端子
- ⑫ オートミュートスイッチ
- ⑬ 入力感度切換スイッチ (LINE、MIC、PHANTOM)
- ⑭ モノラル出力端子
- ⑮ 録音出力端子
- ⑯ ステレオ入力端子
- ⑰ モノラル入力端子

(背面)



ここがポイント!

■音環境を最適化する機能をこの1台に凝縮

1Uというコンパクトなサイズに、TOA独自の技術であるARC (自動音場補正機能)、FBS (ハウリング抑制機能)、ACG (入力クリップ自動防止機能)などの機能を凝縮しました。

■FBS機能をモノラル入力6ch個別に搭載

モノラル入力6chそれぞれにFBS機能を搭載しているので、入力系統ごとのハウリング抑制が可能です。

■測定は既設のマイクでOK

既設の有線マイクを使っでの測定が可能なので、測定専用マイクを別途用意する必要はありません。

■パソコン不要の簡単設定

調整機能を含めたほとんどの機能を、前面パネルのつまみやスイッチで操作できるので、パソコンは不要です。

M-633D機能解説

ARC機能 (自動音場補正機能)

“わ～ん”と鳴り響く不快な音の原因となる共鳴周波数を探し出し、補正フィルターをかけることによって残響感を低減します。TOAが世界で初めて開発した機能で、音響条件の悪い空間でも短時間で音場補正ができ、すっきりとしたクリアな音を提供します。

FBS機能 (ハウリング抑制機能)

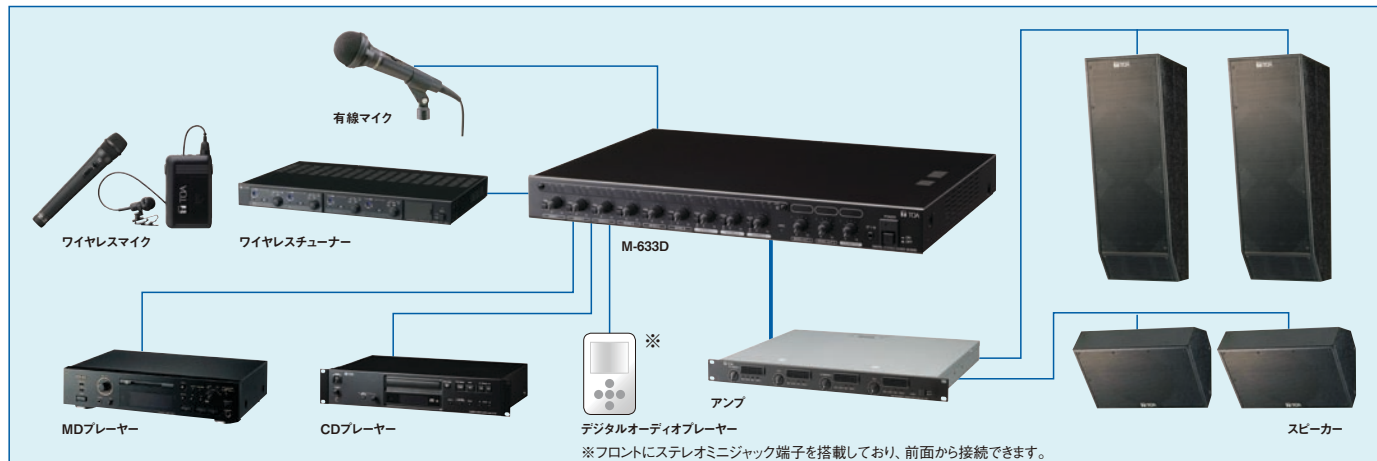
耳障りなハウリングをリアルタイムで抑制します。マイクを使用中に突発的に起きるハウリングもリアルタイムに抑制。ハウリングポイントを正確に探知して補正するため、音質に大きな影響を与えることなくハウリングを抑えることができます。

ACG機能

マイク感度設定時に過大入力があった場合に、入力感度をラインレベルに切り替えて、音の歪みを防止します。例えば、マイク入力端子に誤って出力レベルの高いCDプレーヤーなどを接続しても自動でラインレベルに切り替わります。

■システム例: 体育館

モノラル入力6系統、ステレオ入力3系統、出力3系統のシステム構築が可能。



『TOA 販売支援サイト』を公開

動画やシミュレーションなど、Webならではの“わかりやすい!役に立つ!”情報を発信。

TOAではこの度、お客様のビジネスに役立つさまざまな商品情報を発信する『販売支援サイト』を公開。Webの特長を生かし、動画やシミュレーションなど、より分かりやすい形で情報をご提供します。

現在、3つのコンテンツをラインナップ。

①デジタルレコーダーの記録時間と画質比較

デジタルレコーダー全機種（1局デジタルレコーダーは除く）における記録時間表や画質設定ごとのサンプル画像例を掲載（静止画）。録画レートごとの動画比較もご覧いただけます。

②画角シミュレーションソフトの紹介

防犯カメラを取り付ける際には、監視場所・監視対象に応じた適切なカメラやレンズ選択、画角の確認が重要です。

TOAではカメラ取付位置や画角により被写体がどのように見えるかシミュレーションするソフトを独自に開発。

本サイトでは2次元シミュレーターに加えて、障害物を含めたシミュレーションもできる3次元シミュレーターもご紹介しています。

③ネットワークカメラの接続例

カメラ台数別に接続例を5パターン掲載しています。

今後は、PA関連商品など新たなコンテンツを随時追加し、一層サイトを充実させていく予定です。



詳しくは、以下のURLからご覧下さい。

<http://www.toa-products.com/hanbaishien/>

SECURITY SHOW 2010に出展 2010.3.9~12 in東京ビッグサイト

今年コンセプトは、「音・映像・ネットワークのトータルソリューションで安全と安心を提供するTOA」。

防犯機器や情報セキュリティシステムなど、セキュリティに関わる多くのメーカーが勢揃いする『SECURITY SHOW 2010』に、TOAも防犯・防災の総合メーカーとして、より高度な『安全・安心』に貢献する各種システムを出展しました。防犯分野では、『ネットワークカメラシステム』と『ネットワーク防犯システム』、『壁掛型デジタルレコーダー』、『エリア警戒システム』を中心に、音・映像・ネットワークを組み合わせた各種システムを展示。防災分野では、J-ALERT/緊急地震速報を同報するIP告知放送、連絡通話を行うパケットインターカム、災害危険地域を監視するネットワークカメラを統合した『防災トータルソリューションシステム』を展示しました。また別コーナーを設け、省電力を実現し、CO₂削減に貢献する『地球にやさしい防犯&防災機器』やRBSS（優良防犯機器認定）を取得した機器を紹介しました。

多くの方にご来場いただき、無事盛況のうちに終了しましたこと、厚く御礼申し上げます。

